



三州病院広報誌

# 和

なごみ

秋・冬号  
2021

第32号

<http://www.sansyu-hp.jp/>



認知症病棟 作業療法の作品

## CONTENTS もくじ

うれしいお知らせ・インタビュー	P1
当院における作業療法について	P2
委員会活動紹介	P3
訪問看護紹介	P4
新人さんいらっしゃい	P4
Good Job(グッジョブ)ルール	P5
私のオススメの〇〇	P5
関連施設紹介	P6
編集後記	P7

# うれしいお知らせ インタビュー



令和2年度精神保健福祉事業功労者表彰式にて、  
当院の原田事務長が鹿児島県精神保健福祉協議会会長表彰を受けられました。  
そこで原田事務長に現在の心境を幾つか質問させて頂きました。

**Q 功労者表彰を受けられた感想を聞かせてください。**

**A** これまで出会った先輩方や患者さん、利用者さんに感謝の思いです。自分が辛い時は、元気づけられたり、慰められたり、時には叱咤激励してもらったりがあったからこそ、自分も成長できたと思います。

**Q 印象に残っている病院での出来事は何ですか。**

**A** これまで色々な職種をしました。看護人を2年、働きながら夜間の看護学校に行き看護師資格をとり、精神保健福祉士資格をとり、地域生活支援センターサポートやすらぎで働いたりと、色々な経験をさせていただきました。昨日の事は思い出せないのに、入職間もない頃のことは、今でもよく覚えています。当時、三州病院は宇宿にありました。病院の中庭には大きなイチヨウの木があって…。その下の藤棚の所に手作りのベンチがありました。そこにみんなで集まって、患者さんと色々な話をしたのは、とてもいい思い出です。楽しかったです。実は、現在の三州病院のグラウンドにある藤の木は、当時宇宿にあったのを移植したものなんです。私にとってはとても懐かしく思い出のある藤の木なんです。



原田事務長

**Q 長く働いていてよかったと思ったことはありますか。**

**A** 患者さんからよく声をかけてもらう時、嬉しく思います。

**Q 看護師の資格に加えて、精神保健福祉士の資格を取得した理由を教えてください。**

**A** 25年くらい前の話ですが、当時の理事長から「これからの時代は看護師の資格だけではだめだ。付加価値をつけなさい。」と教えられ、精神保健福祉士の資格も取得させていただきました。

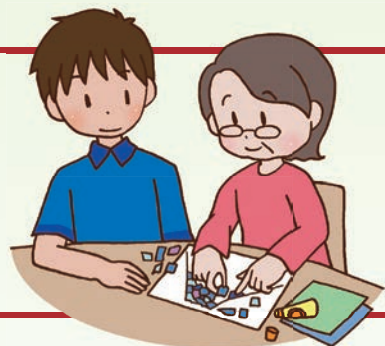
**Q 病院への思いを教えてください。**

**A** 色々な経験をさせていただいて、感謝しかありません。  
三州病院はこれまで、その時代に合わせて柔軟に対応してきた病院だと思います。それができたのは、経営者や管理者の大きな器の中で、スタッフの思いが実現しやすい環境であったからだと思います。昭和60年代、当院は県内で一番早く、鉄格子を外した病院でもあります。職員も「患者さん中心で考えよう」「代理行為を返していこう」と意見を出し合いながら、閉鎖的処遇から開放的処遇へと様々な取り組みをしてきました。  
これからも、患者さんの思いに寄り添いながら、意見を出し合って、ご利用いただく皆様に「三州病院はいい病院だね!」と言って頂けるよう頑張りたいと思います。





# 当院における 作業療法について



作業療法室です。

ある、暑い夏の午後、看護師Yさんがかしこまった顔でラブレターを持ってOT室にられました。中身は広報誌の原稿依頼でした。ということで作業療法について少しお話をさせていただきますね。

三州病院の作業療法室で心がけていること。とにかく「楽しむ」。

入院されている方は様々な心の病気や事情を抱え生活のしづらさを感じておられる方がほとんどです。そのような方々が作業療法に関わることで「何かしてみたい」「元気が出てきた」「何だか大丈夫な気がする」と感じていただけるように活動を行っています。活動に参加してもらいながら生活リズムの改善や意欲の向上、自信付け、ストレス対処、対人関係の円滑化など個々のリハビリテーションに必要な要素に働きかけていきます。

例えば、病院の受付や各病棟に飾ってある生け花ですが、OT活動の中で患者様が花を生けて展示まで行います。作品を見た主治医や看護師、他の患者様から声を掛けられたりすることで活動性の向上や病棟での会話のきっかけに繋がっていき楽しみながら活動を行っています。

作業療法はさまざまな事を患者様と一緒にやり、感じ、そして共感し合う。もちろん楽しいことばかりがあるわけではないですが患者様が病気の回復へ一歩踏み出すとすれば「楽しめること」「楽しむこと」だと思っています。

最後に作業療法室にも新しい職員が入職しています。石神光基です。趣味は魚釣りだそうです。なかなか皆さんにご紹介する機会もありませんでしたが、とある患者様からはハンサムジェントルマン(笑)という韓流スター並の物凄いニックネームを頂戴して日々頑張っております。今後とも作業療法室ともどもよろしくおねがいします。



作業療法士 石神光基

# 委員会活動紹介

## 【褥瘡対策委員会】

長時間の圧迫などにより生じる皮膚トラブル“褥瘡”の予防、ケアの取り組みを行っております。物理的な圧迫の他、栄養状態等も褥瘡が発生する要因に深く関わってきます。その為、専任医師である笠原医師を筆頭に各病棟から看護師4名そして管理栄養士1名によってメンバーが構成されております。入院患者様の年齢層の変化に伴い褥瘡の予防、ケアの必要性が今後も更に高まっていくと感じております。褥瘡は様々な要因が原因となる為観察を十分に行い適切なケアを実践したいと思っております。



## 【栄養管理委員会】

入院中の患者様の栄養状態のサポートを行っております。体重、採血データ等を元にそれぞれの患者様に適した食事内容が提供できるよう話し合いをします。

また患者様にあった食事の形態についても検討します。

食事は入院中の患者様もとても楽しみにされており、バランスを考えながらも、何よりも食事のもつ“楽しみ”が感じられるよう取り組んでいけたらと考えております。





# 訪 問 看 護 紹 介

こんにちは! 訪問看護です!

暑い時期も過ぎ、訪問先へ移動する車内も快適になってきています。さて、訪問看護の紹介をさせていただきます。

訪問看護では、当院に外来通院されている患者様を対象に主治医の指示の下、患者様のご自宅を訪問させていただいています。

「訪問看護が来る!」となると「掃除をしないと!」「薬飲み忘れた!怒られる!」と緊張される方も多いかもしれませんが、部屋が散らかっていても、薬を飲み忘れていても大丈夫!(ほんとは大丈夫じゃないけど...) 私たちが訪問してお尋ねしたいのは生活する中で困っている事。聞いて欲しい事。そこを一緒に考えたり悩んだりできたらいいなという思いでお伺いしています。相談事はもちろん、日常的な雑談をしたり、冗談を言い合ったり、いろいろな感情を共有していますよ。ご本人の生活スタイルに寄り添い、尊重しつつ、地域社会になじめるよう関わっていく事を大切にしています。

まずは、訪問看護がどのようなものか知っていただければと思い、簡単に紹介させていただきました。退院後の生活に不安を感じている方、自宅にいる時間が寂しい方、お気軽にお声掛け下さい! 少し、お部屋が賑やかになります。



## 新人さん!いらっしゃ~い!

新しい仲間を迎えましたのでご紹介します。



**前原 茜**(准看護師)

趣味: ドライブ

今後の抱負:

今年の4月より入職し、半年以上たちました。

入職した頃は何も分からず不安な事も沢山ありましたが病棟師長をはじめ優しい先輩方に助けてもらい少しずつ仕事になれてきました。

まだ、分からないことも多くありますが日々勉強して職場に貢献できるよう頑張っていきます。



広報誌「和」第25号のアンケートで、「長年、三州病院に勤めているスタッフの近況について知りたい」とのご意見をいただき、『Good Jobルール』と題し、今回で6回目の連載となりました。スタッフの私生活や仕事に対する思いや姿勢など皆様にお伝えできればと思います。

匿名希望

①所属 看護部 ②病院に勤めて何年 16年目

今回、広報委員の方から「Good Jobルール」の記載依頼がきて、自分の大事にしている仕事のルールってなんだろう？と改めて考えてみました。

大事にしている事というよりは、気をつけようと思っていることは…

まず、私自身が人見知りで初対面の人との交流が苦手なコミュニケーションが上手にできないため患者様と接する時、挨拶をしっかりするように気をつけています。「おはようございます」「ありがとうございます」など当たり前のようなことだけど、業務を行いながらだと忘れがちになってしまっているのを気をつけています。

あとは、精神科で働く上で、観察力がすごく大切だと感じています。

日々、過ごす中で何気ない言動や行動・表情のちょっとした変化が精神科の患者様にとって何かしら症状の出現だったりすることがあるからです。

他の科では検査データやレントゲン等で病気の診断ができるが、精神科はそれらのデータでは診断ができない。患者様の表情や言動、行動のひとつひとつが診断の材料になると、研修に行ったとき話を聞きました。

まだまだ、自分自身に観察力はないが、患者様が発しているひとつひとつのサインを見逃さないように観察する力をこれから身につけていけたらと思っています。

## 私のオススメの○○

### 私のオススメの趣味

最近は健康志向の高まりなどにより、ランニングを趣味にされている方も多いように感じられます。私も週に2~3回ではありますが、ストレス解消や気分転換のために走っています。特に、疲れているなぁと感じる時やモヤモヤとした気持ちが続く時、ネガティブ思考になりがちな時などは、「とりあえず、走ろう!!」という気持ちになります。

自然の中や景色の良い場所を走っていると、普段は気付かないことに気付くことができます。同じコースであっても季節や時間帯、天気によって違う景色が楽しめます。

また、走りながら自分の行動を振り返ったり、自分の気持ちや考えを整理したりすることもあるのですが、一歩ずつ前に進みながら物事を考えていると、前向きな気持ちになれたりします。

私にとってランニングの時間は、季節を感じ自然を味わうことができ、さらに走り終えた時は達成感や爽快感が得られる、とても大切な時間となっています。

長引くコロナ禍で運動不足やストレスを感じている方も多いのではないのでしょうか？  
興味のある方は、ぜひ始めてみてはいかがでしょうか？

療養病棟 看護師 原口







## 関連施設紹介



社会福祉法人 くすの木会

# Mana保育園

所在地：鹿児島市新町 3-10  
ビクトワール鹿児島1F

対象年齢

0歳児～2歳児(満3歳になった3月31日まで)

Mana保育園は企業主導型の保育園として、令和3年3月31日に開園いたしました。

様々な職種・多様な就労形態で仕事をされている保護者が増えている中、社会においても核家族化が進み、地域力の低下が叫ばれており、子育てと仕事の両立が難しくなりました。

このような背景を踏まえ、安心して働いていただけるよう本園では、365日開園、午前7時から午後8時までの利用時間を設定し広く対応が出来るようにしています。

また、本園の保育理念として『子育ての主役はおとうさん、おかあさん』であることを掲げ、“寄り添い ささえ いっしょに育てる”をスローガンに保護者に関わっています。

子育てを支えていくこと、そして子どもの育ちを一緒に見守り、成長をともに喜べる保育園をめざしています。

日々子どもたちと接する中、首が座り、寝返りが出来るようになり、やがて、おすわり、はいはい、掘まり立ち、一人歩き・・・と子どもたちの成長には目を見張るものがあります。

この大事な時期に関わり、成長を喜び合える私たちの仕事に幸せを感じる瞬間がたびたびあります。そして子どもたちのきらきらとした大きな瞳に見つめられると心があらわれるようです。その愛らしい姿に誰もが優しい顔になり、にっこりと微笑んでいるのです。

子どもも職員も笑顔あふれる温かい園になるよう日々努力をしています。そして、Mana保育園が保護者や子ども、職員がホッと出来る空間になるよう願っています。

園長 中村 律子



## 理念 基本行動指針

患者様を博愛の精神で受け入れ、  
分け隔てなく、寛容の心で接します。

1. 患者様の人権に配慮し、  
最善の医療とより高い入院生活環境を  
提供します。
2. 精神科リハビリを促進し  
早期退院に努め、  
多くの方が地域で生活できるように努力し、  
その家族を含めて支援します。
3. 常に医療について研鑽を怠らず、  
医療人としての誇りと働き甲斐を持てる  
環境の創造に努めます。
4. 関係機関と連携し、医療を通じて  
地域への貢献に努め、地域と共に歩む  
病院作りを目指します。

## 患者様の権利について

患者様が安心して、  
より良い医療を受けられるように、  
患者様の権利を尊重します。

1. 個人としてその人格を尊重される権利
2. 医師から十分な説明を受け、治療を受ける権利
3. 通信・面会の権利
4. 公平で差別をされない医療を受ける権利
5. 処遇等の不服を申し立てる権利
6. 医療上及び個人の秘密を守られる権利

**編集後記**

秋が深まる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。  
早いもので、今年も残りわずかとなりました。年々、月日の流れが早く  
感じられます。コロナの影響で大変なご苦労もあるかと思いますが、お身  
体には気を付けてお過ごしください。

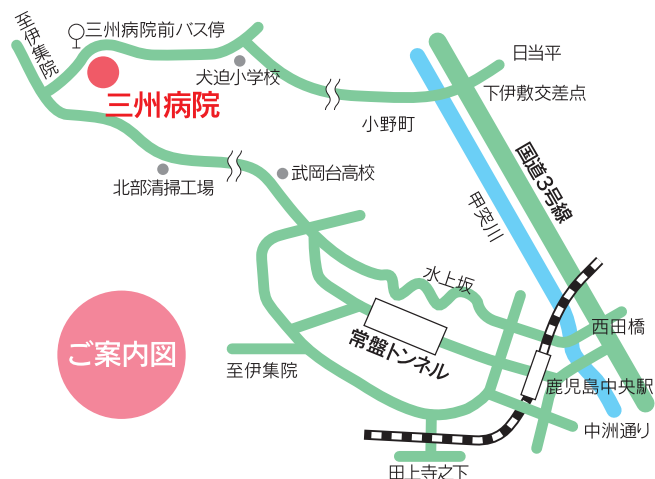
広報誌「和・なごみ」32号をお読みいただき、ありがとうございました。  
今後も楽しんで頂ける広報誌を目指して取り組んでいきたいと思ひます。  
次号は令和4年5月発行予定です。宜しくお願ひいたします。(広報委員会)

ホームページアドレス <http://www.sansyu-hp.jp/>  
☆ホームページでも広報誌をご覧いただけます。

### 交通ご案内 鹿児島交通バス



鹿児島(金生町)のりばから犬迫經由伊集院線にご乗車いただき、  
三州病院前バス停でご降車ください。



ご案内図



## 医療法人 共助会 三州病院

〒891-1205

鹿児島市犬迫町7783番地1

TEL/099(238)0075

FAX/099(238)0079

診療科目 精神科・内科・心療内科

<http://www.sansyu-hp.jp/>



↑QRコードより  
モバイルサイトへ

診療時間 午前 9:00～12:00 (受付8:30～11:00) 午後 13:30～17:00 (受付13:30～16:00)

休診日 土曜日午後・日曜日・祝日

施設概要 病床数 198床  
病棟 精神病棟 95床  
精神療養病棟 55床  
認知症治療病棟 48床

業務内容 ●精神療法 ●精神科作業療法  
●精神科 テイクア・デナイトケア・ショートケア  
●精神科訪問看護 ●もの忘れ外来  
●おとなの発達外来 他